

繁華街の路上で大勢の観客がいる中

恥辱のショーが開幕する…。

退魔士カグヤ極6

DEVIL EXERCISE TENSEI MAGUYA

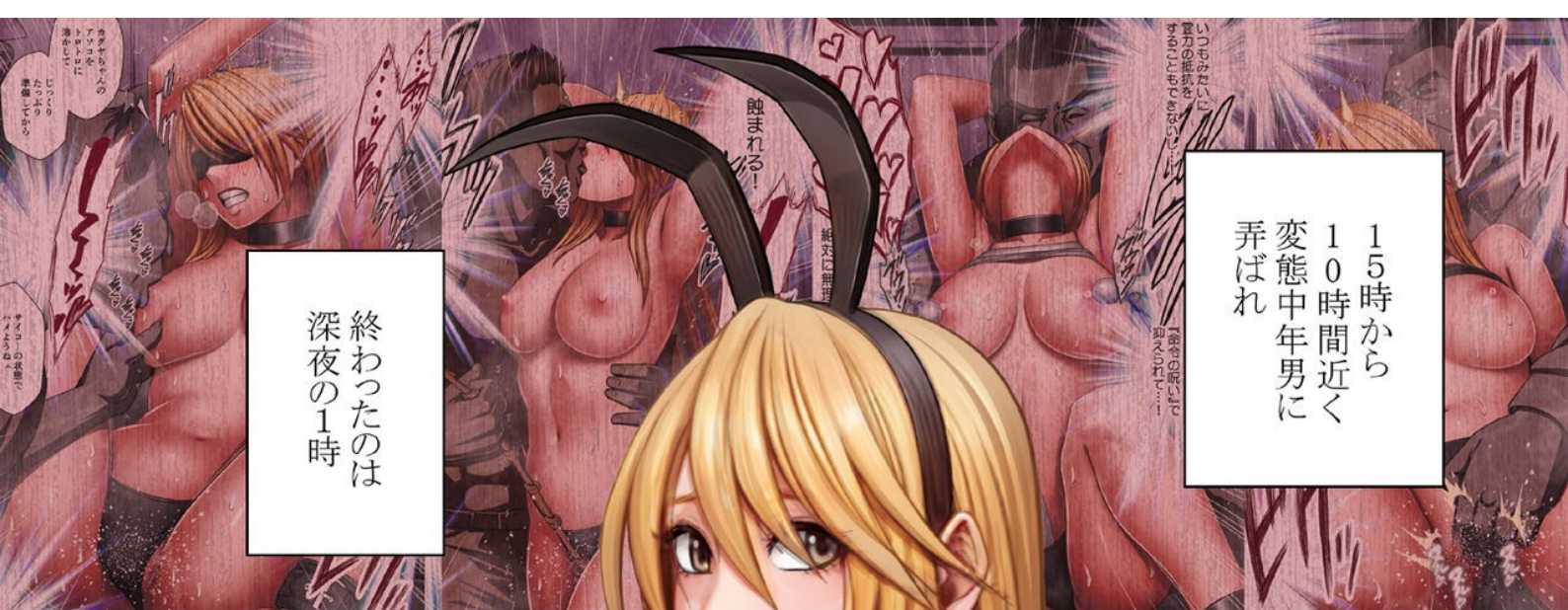


15時から
10時間近く
変態中年男に
弄ばれ

終わつたのは
深夜の1時

ようやく
解放された私は

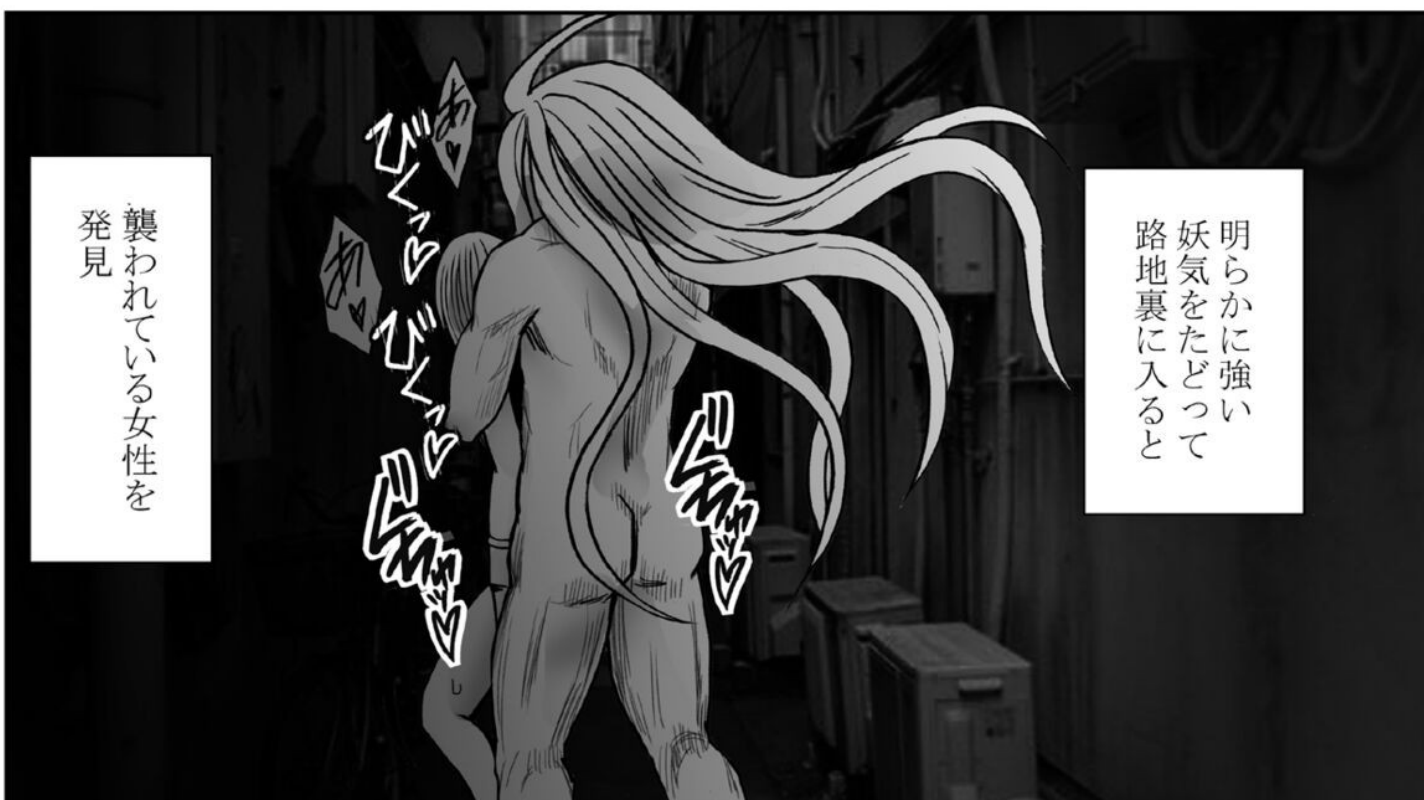
着替えもせずに
一目散に
ホテルから逃げ出して…



深夜1時とはいえ
人通りが多い…

こんな格好じゃ
へんに目立って
恥ずかしいし…

なるべく
人混みを避けて
帰らないと…





すこしだけ
復活した霊力の
すべてを使って

周りに
目立たないように
妖魔を攻撃し

女性を
すみやかに救出することに
成功した

そこまでは
良かった

でも...



妖魔が
消えた...!?

何処に
行ったの?



この世には
絶対に許されざる
悪の行為が
3つある

仲間を
裏切ること

万物への感謝を
忘れること

キョウ

他人のセックスを
ジャマすることだ

アウウウ



妖魔……!!

せっかく
美人で淫らな
最高の女を見つけて
遊んでたのに

よくも
ジャマしてくれたな

かわりに

ダメだ……!!
姿が見えない!!

お前のカラダで
遊ばせてもらおうか

……!!?

ミユルル

これは……!

透明の触手!?

ん?
よく見るとお前
なかなか
イイ女じゃないか

アツ

顔はまあ
さっきの女よりは
素朴ではあるが
端正な顔立ちではある

カラダは
素晴らしい

まわりには
見えてない……!?

感度は……

ミメル



おお！
感度は素晴らしい！

さっきの女は
怖がるほうが
強くて反応が
薄かったからな

これは
いい……！

犯されることを
愉しめる
素質をもった
カラダだ



まずい!!!
こんな場所で!!!

.....!!

オレはこうやって
街の人混みの中で
堂々と
女を犯すのが
大好きなんだ



道行く人たちも
見ていいのか
見ちゃダメなのか

横目で見ながら
悶々となつて
通り過ぎていく



獲物が
恥ずかしさと
焦りでも
どうにもならず

悶える姿を
見るのもちろん

アハハハ

アハハハ

アハハハ

アハハハ

ただの路上の
一区画が

即席の
淫靡な空間へと
変わる

この「シーン」が
たまらなく
心が躍る





ただものじゃない!

この妖魔：
遠くで見てただけじゃ
気付かなかったけど

何もできない!

くっ……!

びくっ
びくっ



今の……この
完全に回復できてない
霊力で

太刀打ちできるような
相手じゃない……!

びくっ
びくっ

びくっ
びくっ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ



頭では
拒絶してるのに

カラダが快感を
拒否しようと
してくれない!



それに私のカラダは
ついさっきまで

スッ



精液をもらつたために
10時間近く

ずっと性的刺激を
受け続けてたから

ムニ



快感を受け入れるのが

当たり前みたいなの
状態になつてて

ズル



ほらほら
歩いてる人たちが
チラチラ見始めてるぞ？



ただでさえ
おかしな服を着て
目立ってる美女が

まるで自慰でも
しているかのように
淫靡に肢体をくねらせて
悶えてると

もはや
気にしないほうが
不自然というものだ

びんびん

びんびん

びんびん

びんびん

びんびん







これ以上
目立ったらダメ…!

びびる



ああ…!

イカされた…!
こんな街の中で…

でも…



せめて
声だけはガマンしないと!

どうした?
そんなに口を
きつく閉じて…

イカされるのは
仕方ない

せめて声だけでも
ガマンしようって
ことか?

びびる

びびる

びびる

びびる



確かに
ここであえぎ声なんて
出したら

もう完全に
アウト

まるで自分から
注目してくださいと
言っているかのように
なってしまうからな…

フフフ

アツ



……!!

無駄だと
思うけど



じゃあ
思いつきり
声を出させてやろうか

ヌル
ヌル



これ以上注目
されたくなかったら
死ぬ気で声を
ガマンしてみるんだな



.....!!

ここが
女をあえがせる
ツボだ



声が……!

……!!



ダメだ……!!

……!!



ドキッ



自分の意思とは
関係なしに……!

声か……!

ズズズ

ズズ

ズズズ

ズル♡

ズル♡

ズル♡

ズル♡

ズル♡

ズル♡

ズル♡

ズル♡

ズル♡

ズル♡

ズル♡



恥ずかしい声が……!

アッ

アッ

アッッ

アッ



え？

何アレ？

何かの撮影？

ど
ど

痴女？

何やってるの？

ど
ど

フフフ
今の
卑猥な大声が
トリガーになったか

立ち止まって
見始める人が
現れ始めたな

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ひとたび
そういう人間が
現れると

ジロジロと
見る勇気が
無かった者たちも

自分も見ても
いいのかなという
気持ちになる

そこは
たちまち人混みになる

日常で
溜まっている欲望が
解放される



あは
あは

あは
あは



本当は誰もが
心の底では

お前の淫靡な
痴態を

ああ…ダメだ!

見たくて見たくて
しようがないんだよ

どんどん
人が増えて…!!



イク…!!



もう止められない!

え?
何これ?

いいの?

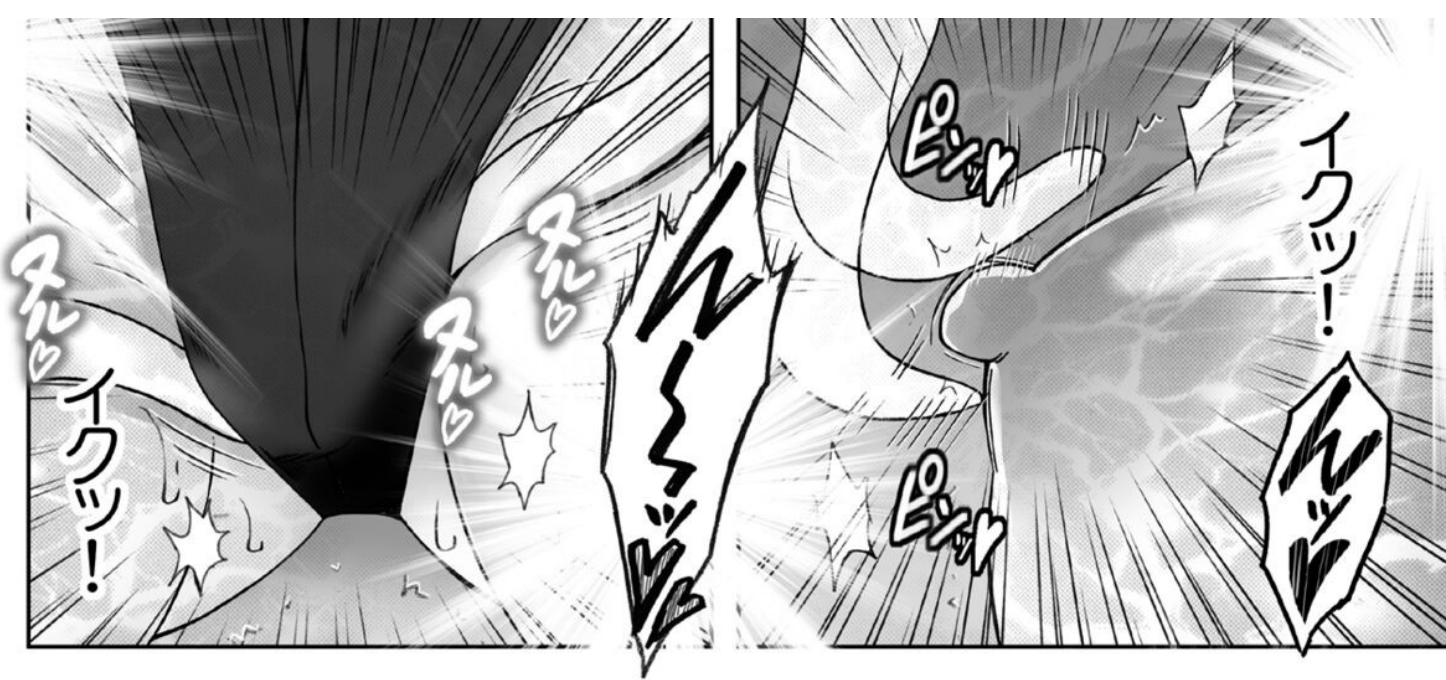
乳首
出てない?

露出狂じゃない?

You●ube撮影?

めちやくちや
かわいいじゃん

こんな大勢の前で…!!





お願い…!!

見ないで…!!

アッ♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡
アッ♡

アッ♡
アッ♡

アッ♡



フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フフフ

もう
欲望が
止まらなく
なってきたな

勝手にスマホで
撮影してる奴まで
出始めたぞ





人の欲とは
歯止めがきかない
ものだな？

いいのか？
恥ずかしくないのか？

止めなくていいのか？

も…何も…！

何もできない！

抵抗する…！

逃げ…！

ズル

ガマンする…！

ズンズンズン

ズル

ズル

ズル

ズル

あ

ズンズン

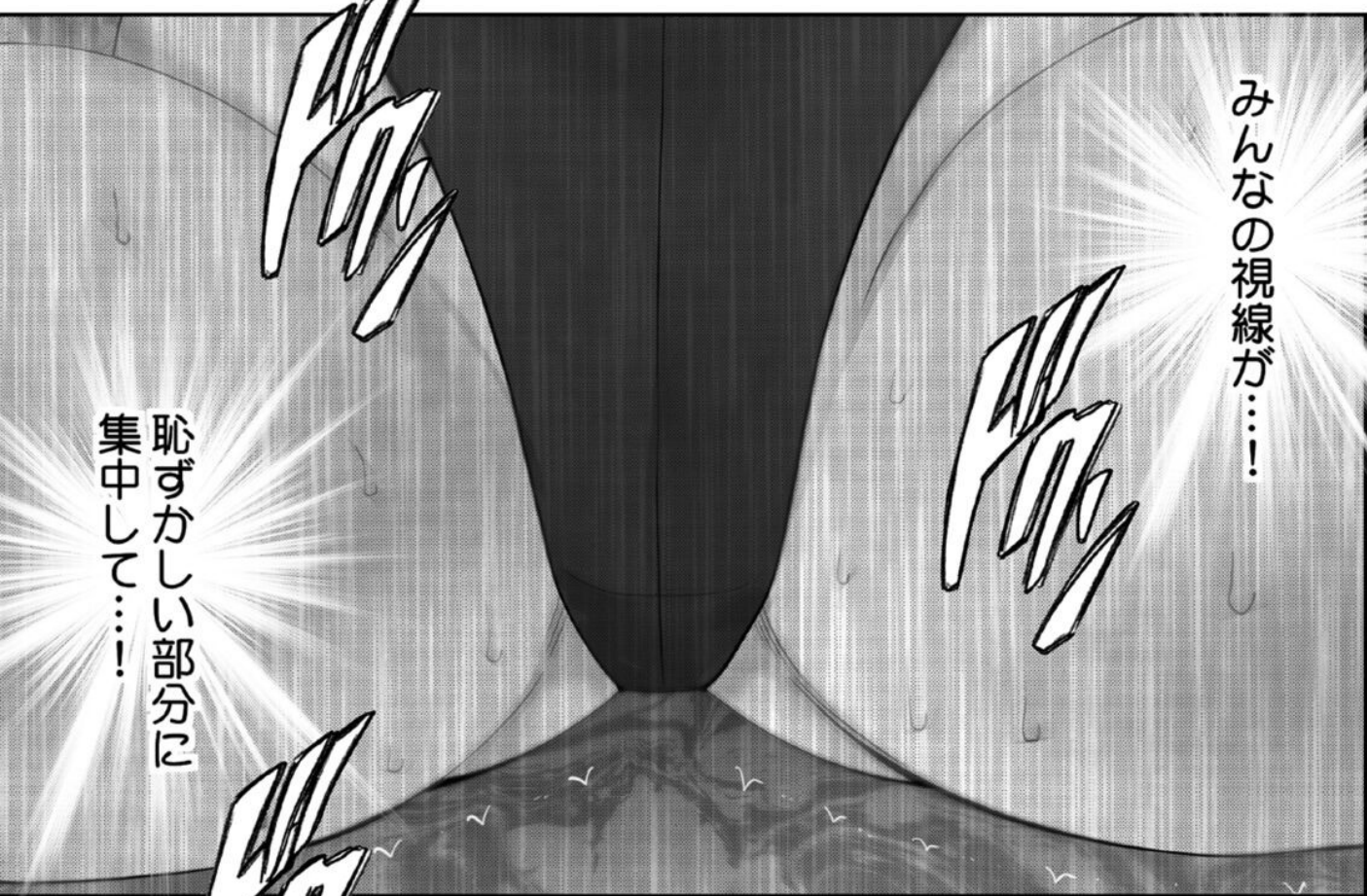
ズンズン

ズンズン



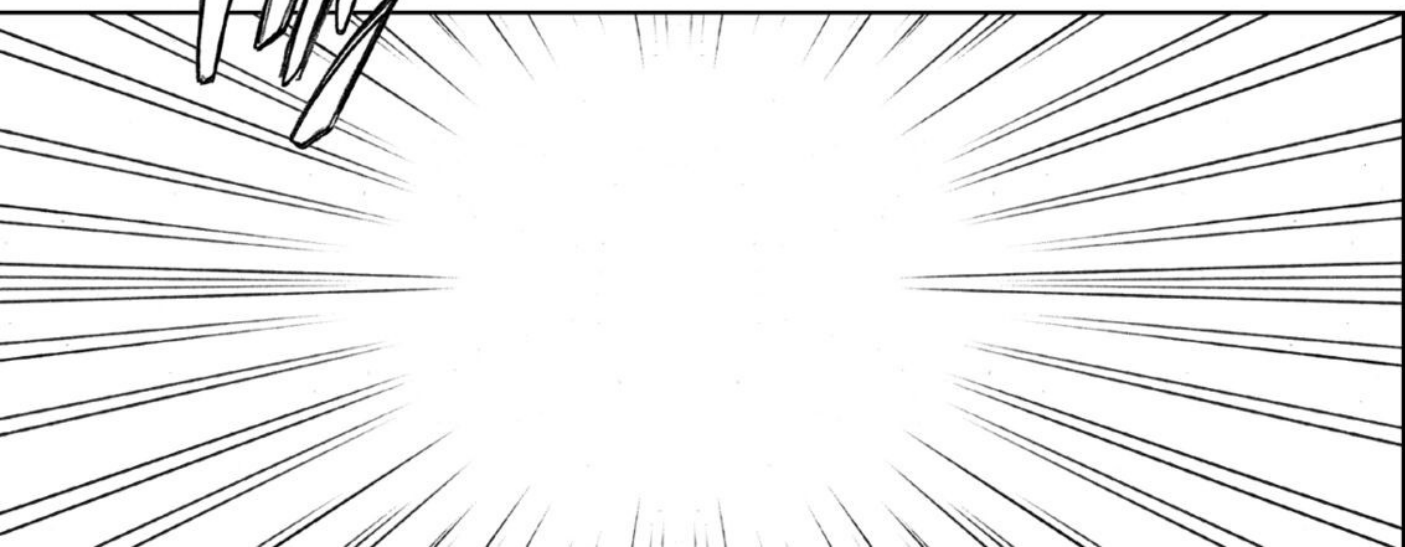


いぢ……!



みんなの視線が……!

恥ずかしい部分に
集中して……!





まるで
集団の目に
強制されてる
みたいになって……!!



カラダが勝手に
熱くなって……!!



あ
あ
あ



あ
あ
あ



フフフ
これはいい

素晴らしいステージに
なってきた

煽情的な開脚
ポーズでの絶頂で

観客のボルテージも
一気にあがってきた
みたいだな





実際は
オレが無理矢理
開かせたわけだがー

お前が
自分から足を開いた
ことで



「これは
見ていいものなのか？」
はつきりしなかった
者たちも

確信に
変わったんじゃないか？

これは
ショーなんだと

もっと
観客が
見たがっているものを

グ
グ
グ

しっかりと
見せてやろうか

!!!

ハ
ハ
ハ





ダメ……!

やっ!



このまま
みんなの前で
ココを刺激して



気持ち悪いところを
的確に責められて……!

女院から
潮を吹くところも
見せつけようか



こみ上げてくる……!



反応がよすぎるから
分かりやすいな

ここだな
お前の弱点



ゴッゴッ

777

777

ゴッゴッ

ゴッゴッ

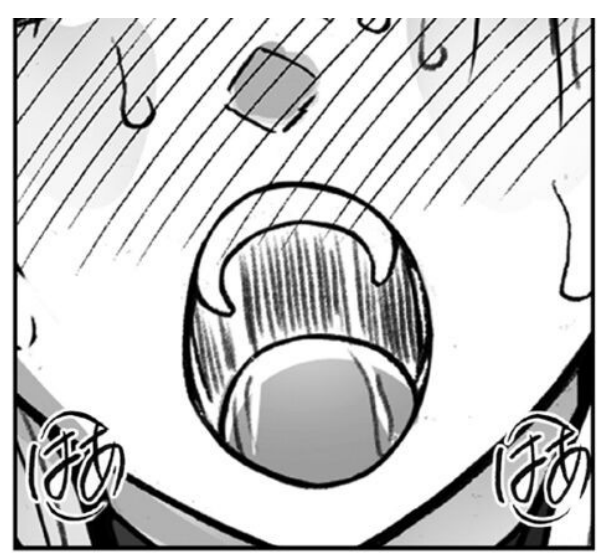


どうしようか？

ざわ

思ったよりも
たくさん
ギャラリーも
集まってきたことだし

さっ…



ほあ

ほあ



ここで
私が
不可視溶体法を
解除して

妖魔として
姿を現して

街を大混乱に
陥れるか

モウモウ



それとも
このまま
透明のまま
お前を犯して

民衆を
愉しませるか？

どっちが
いいかな？

アム

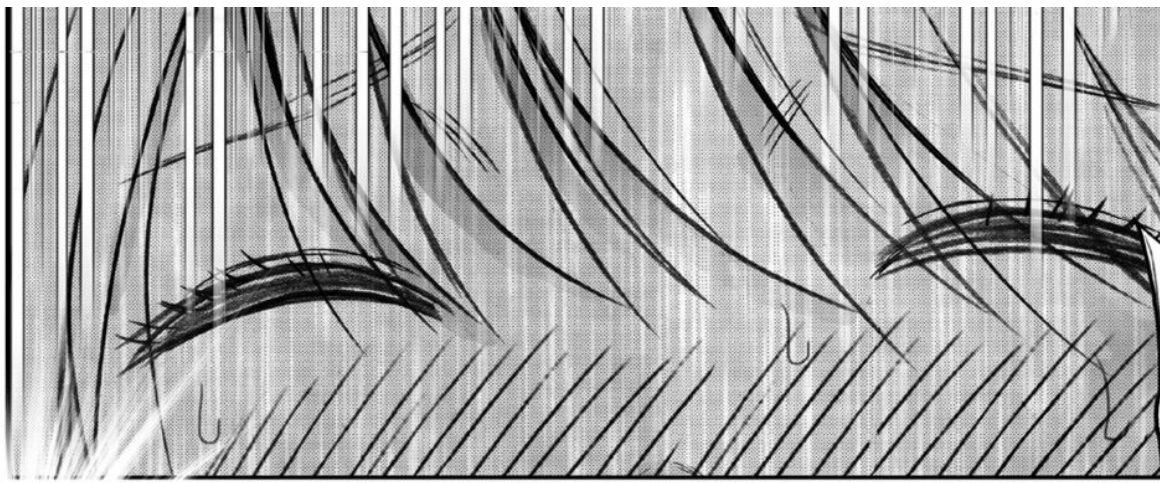




あははは

あははは

あははは



まさか
迷わず
自分が痴態を晒す
選択肢を選ぶとはな

それは
民衆を守りたい
正義感からなのか

それとも
本当に続きがたくくて
入れて
欲しかったのか

どっちなのかな？

アハハハ
アハハハ

びくびく

びくびく

ハハハハ
ハハハハ

ハハハハ
ハハハハ

それとも
本当に続きがしたくて

入れて
欲しかったのか

どっちなのかな？

あるいは
両方かな？

まあいい

そこは追及しないで
おこうか



実際に

ほとんど霊力が無く
万全な状態でなかったにも
関わらず

見知らぬ女性を助けるために
自分の危険もかえりみず
私に挑んできたところを
見ると

正義感が
強い女であることは
分かるし

同時に



この体の反応で
お前がマゾとしての賦質を
もっていることも分かる

このカラダは
こんな欲望にまみれた
男たちの目を
一身に浴びせられながら
犯されると

とてつもなく
快感を得られるということを知っている

そうだろうか？



視線を感じるか？

みんなが
欲情している

もっとお前の
卑猥な姿を
見たがっている
フム...



ああ…!!

この妖魔…
ただものじゃない…!!

妖術とか結界とか
使われてる
わけじゃないのに

立場も

行動も

快感も…!!

ムニ
ムニ

ズン
ズン

ズン
ズン

ムニ
ムニ





この場のすべてが

この妖魔に支配されてる……!!

クククク

クククク

クククク

クククク

クククク



何もかも支配される！

何とかしなきゃ…
このままじゃ…！

おや？
まだ
抵抗する力が
残っている
ようだな

支配から
逃れようと
してるのか？

ムダだ
すべてを
支配してやろう

お前の体の
すべてに
支配される悦びを
教えてやる

さあ
このまま中に
出して

オレの妖力で
マーキング
してやろう



掣肘印

GASHA

GASHA



内側から
オレの妖力を
感じるんだ



そして
身も心も
オレのしもべに
なれ

んっ……



中に
何かが……!

これはー

ただの
精液じゃない！

妖魔の
淫水でもない！

快感が
深くなつて…！

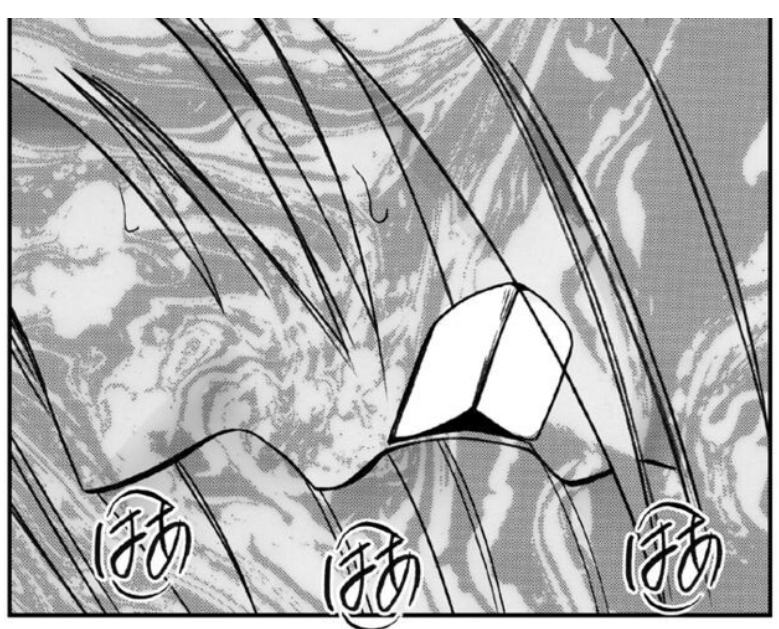
内側から
めちゃくちゃに
されるッ！





ああ……！
もうガマンできない！！

何も考えられない！！





お前の
記憶を吸いだして
みよう



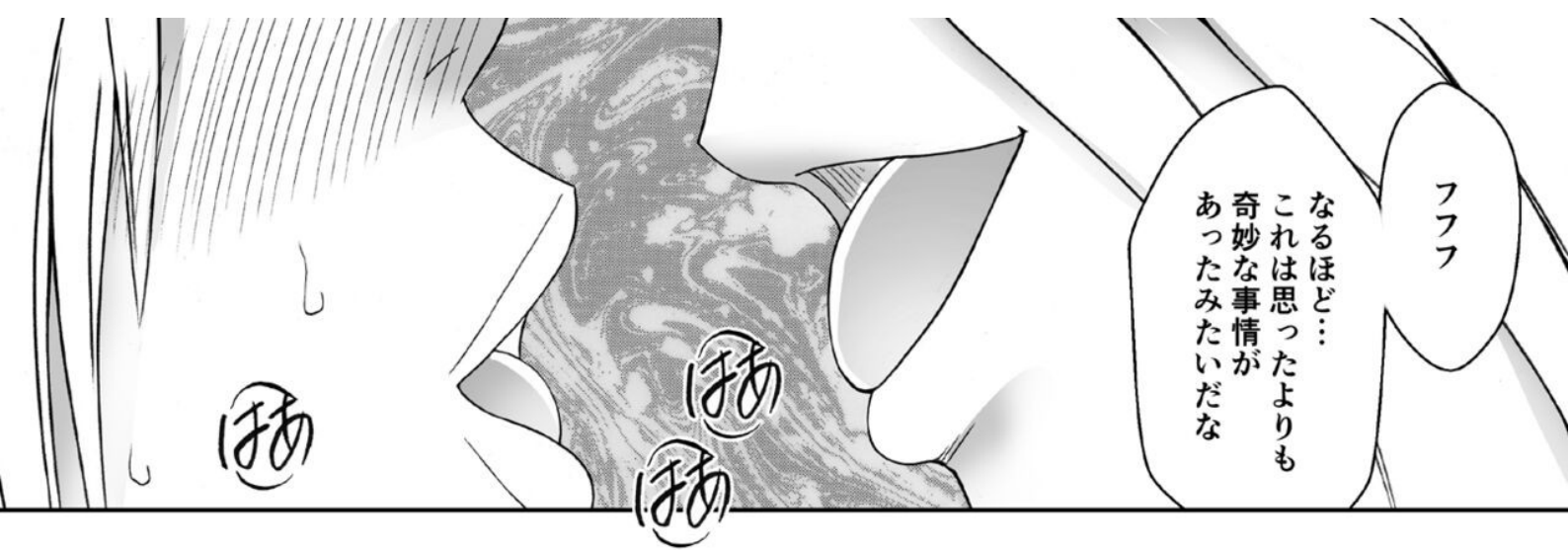
何なのこれは……!

快感が脳に直接……!



いせー!!





なるほど：
これは思ったよりも
奇妙な事情が
あったみたいだな

フフフ



なぜか出せなく
なってしまうた
靈力を治療するために

精液を求めて
見知らぬ男性と
一夜を過ごし

プレイの一環として
その衣装を着せられ

その後
あまりにセックスが
激しすぎたため
着替えもせず
あわてて逃げて来た
というわけか



なるほど

複雑な事情は
分かった

本調子では
ないとは思っていたが

カッ

カッ



そんな
状態の女を
支配するのは
オレの主義に反するな…



男にもらった
精液の効果で
かすかに霊力を
回復させていただけの
状態で

しかも
男に一晚中弄ばれて
カラダも発情した
状態だったと
いうわけか…



えっ!



とりあえず
お前のカラダに
入った
他の男の精液を

強制的に
放出させようか



えっ!

ズンズン

今度は何を…!

サッ!



ズンズン



えっ…!!
何をされたの!??

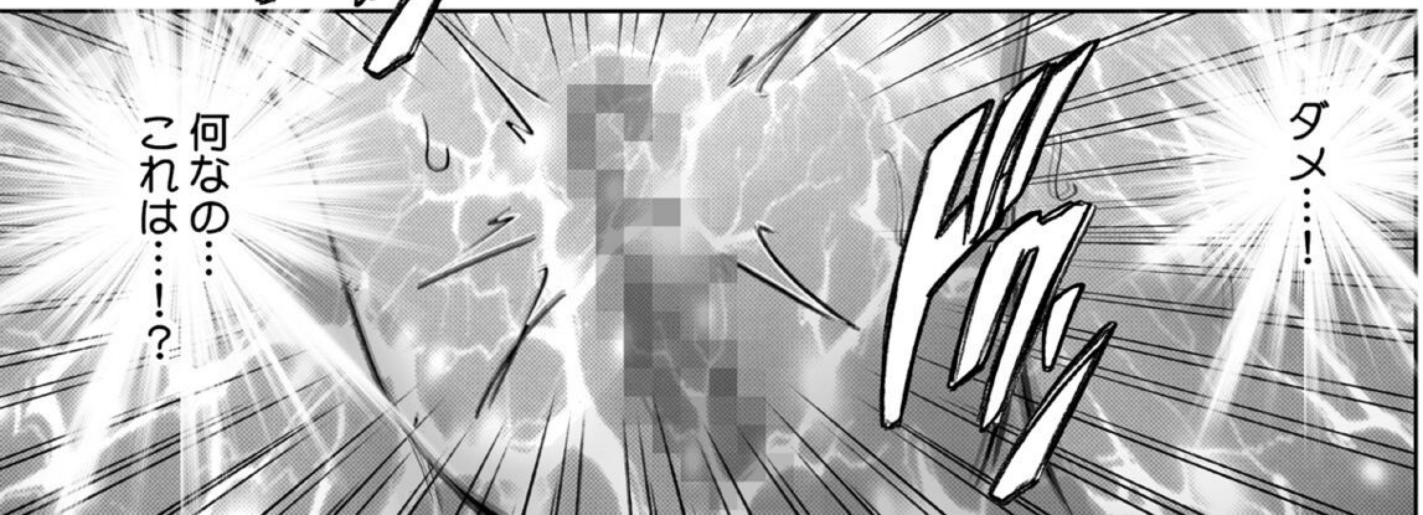
股間が…
熱く!

内側から
膨れ上がってくる
感じが…!



ダメ…!!

何なの…
これは…!?!?





……!?

ドキ

あ……!

あ……!

あ……!

ガッ



下半身がしびれるよーん
気持ち良くなっつー……!!

何か…ッ!

びび

びび

びび

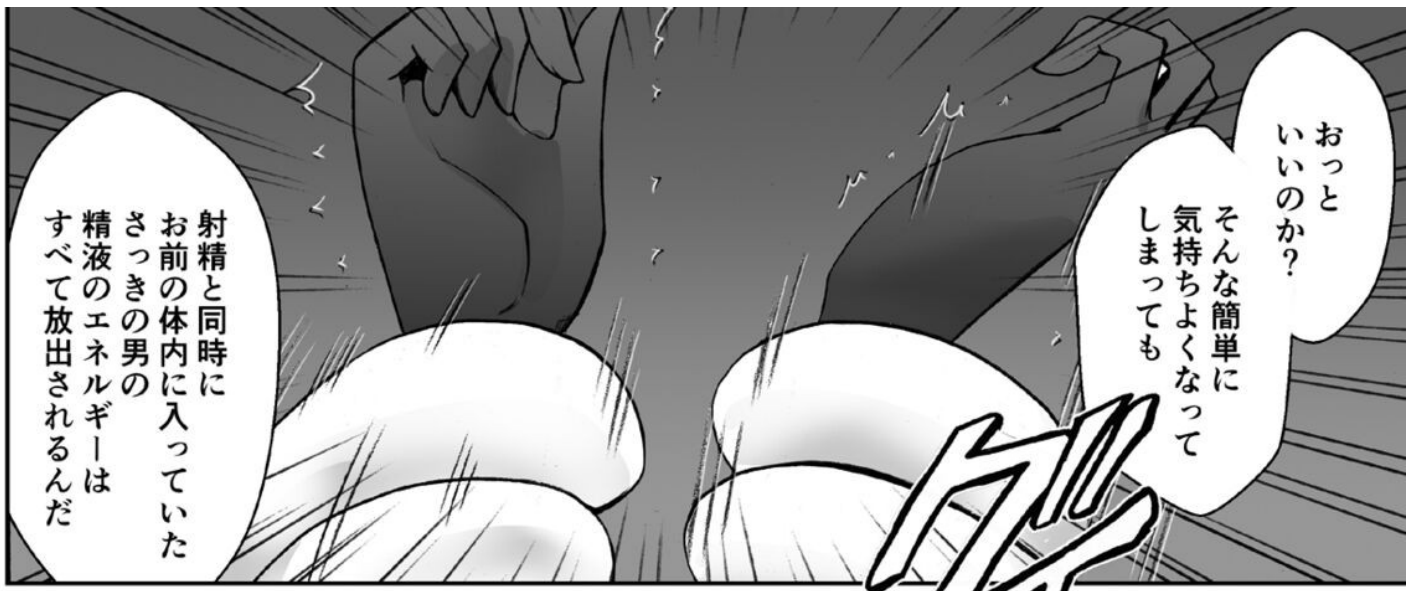
びび

びび

びび

びび





おっと
いいのか？

そんな簡単に
気持ちよくなって
しまっても

射精と同時に
お前の体内に入っていた
さっきの男の
精液のエネルギーは
すべて放出されるんだ



一瞬で
すべて
台無しになるぞ？



霊力を復活させる
ためとはいえ

好きでもない
変態男に
10時間近く
カラダを弄ばれ

耐えに耐えて
やっともらった
精液が



そんな…!!

でも…これ…!!



待って！

EEEE…!!

おねがい
待って！



EEEE…!!

おいおい
気持ち良すぎて
観衆がいること
忘れてないか？

いいのか
そんな大声を
出しても



ガマンできない！

どっげって
ガマンしたらいいのか
分からないから…!!

EEEE…!!

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

外から見たとき
明確な
シグナルのない
女性の
オルガスムスと違って

射精と言うのは
誰が見ても
はつきりと分かる
快感の最高潮
だからな

この淫猥ショーの
クライマックスとしては
ふさわしいだろう





拷問に等しい
羞恥の果てに取り戻した
霊力を

再び失う屈辱と

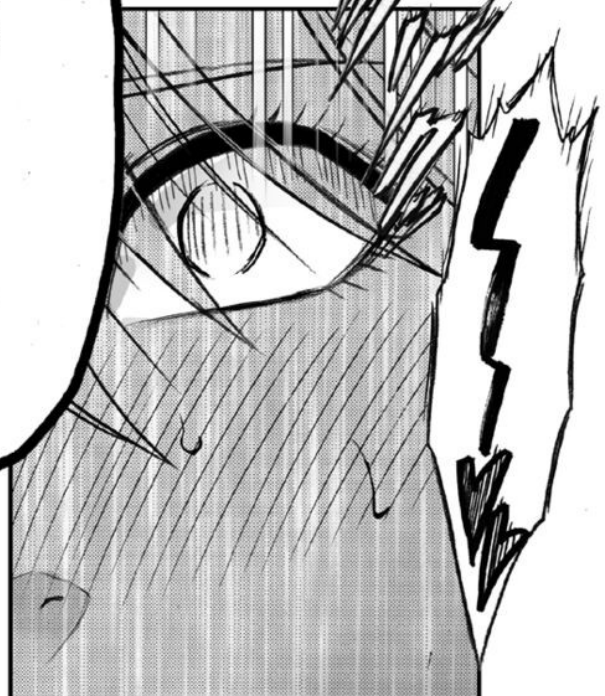
観衆の前で
こんな淫らに変えられたカラダの
絶頂の瞬間を知られる



同時に
味わわせてやろう



最大級の恥辱を





クッ

クッ
クッ

クッ
クッ

クッ

クッ
クッ
クッ

アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ
アッ



♡♡♡♡♡

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン



残っている
霊力を
絞り出すまで
終わらないぞ？

最後まで
民衆を愉しませるんだ



まだまだ

四肢を大の字に
拘束された状態で

不本意に
男根を生やされた
恥ずかしいカラダの

恥ずかしい反応を
すべて晒しながら

アッ

ああ……!

ダメ……!

ゴキウゴキウ

こんなの
恥ずかしすぎる……!

せっかく戻った
霊力を
また失うわけには
いかないのに……!





死ぬほど気持ちよく
されて
限界だと思ってたのに!!



ミユル

あれ以上の…!!

こんな
知らない快感を
引き出されるなんて…!!

アッ

アッ



気持ちよすぎる…!!

さっきまでの
ホテルであんなに
やられて

あッ

あッ

アッ

アッ

アッ





一番無防備な姿で

恥ずかしい姿を…!!

さあ最後
盛大に
吹き出すんだ



ダメ…!!力が入らない!

抵抗できない!

次が
最後の
一発
かな?





せつかく苦労して
戻りつつあった
霊力が全部...!!

これはダメ!

ダメ!
ダメ!

ダメ!

本当に...!!

ああ...!!
そんな...!!



また
入れたくなって
しまったよ

ニヤリ



ということで
ここからは

ブル♡

ブル♡



さあ
これで
ショーは終わりの
つもりだったが

ここまでやっても
まだまだ気高さが
目減りすることがない
お前という女が
気に入ったから

ほあ

ほあ

ほあ

ぽぽぽ



そんな…!!

また
入れられたら…!!



今度こそ
もう…!!



観客とか
気にせず

ただただ
お前のカラダを
堪能させてもらおう

ドキッ





もう
抵抗はできないぞ？

心のほうは
ともかく
お前のカラダは

すでに
私に支配されている

私の男根を
受け入れたら

カラダはもう
従順に

快楽を
絞り出すように
動くしかない



まあ：
そうは言ってもだな

確かに妖術を
使ってお前の体の
快感を増幅させたりは
しているが

それ以前に

そもそも
お前自身が
こういうの

キライじゃ
ないんだろ？



お前の本質は
清楚にして卑猥

動いてる？

エアセックス？

何アレ？
エロすぎない？



ダメだ……！

人に
見られながらとか

無理矢理
されるのとか

そういうのに
興奮する性質を
もってるよな？

敵わない！！

びくびく

びくびく

びくびく

びくびく

びくびく

もう完全に…

私の負けだ…!!

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

イク…!

イクッ…!



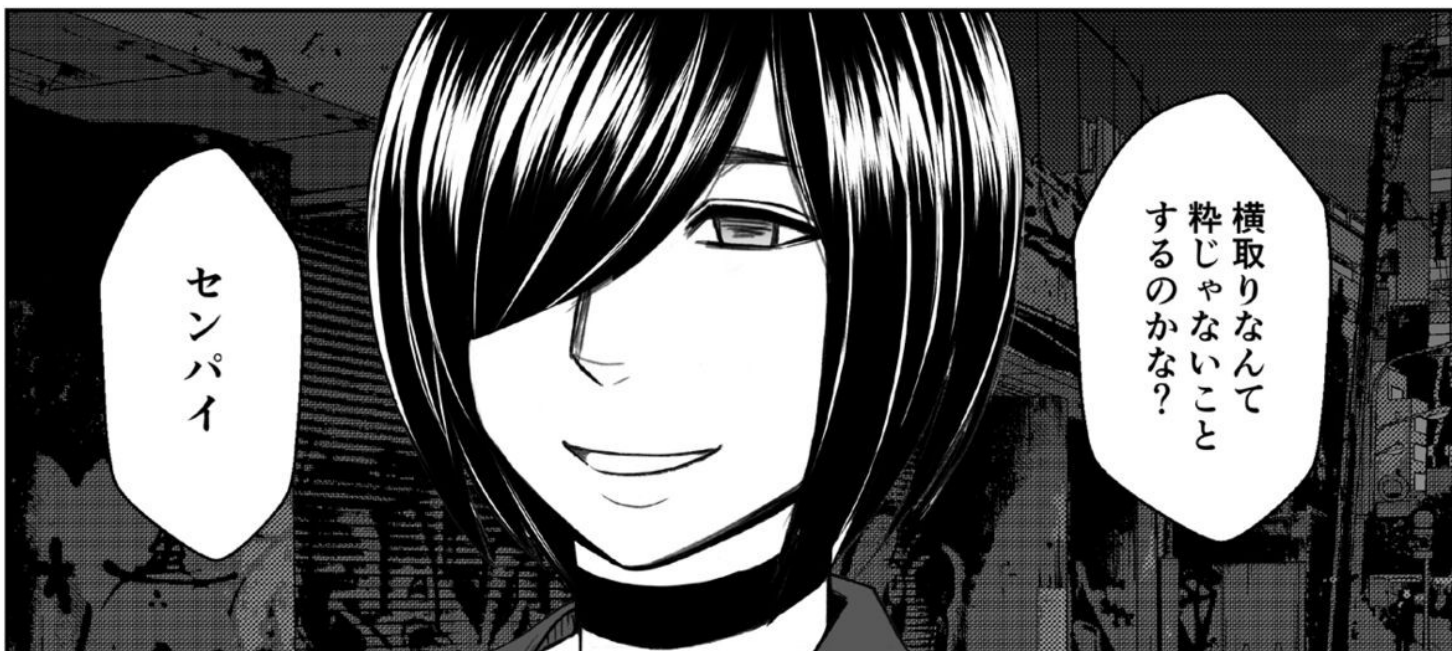




フフフ
困るね

どこに
連れていこうと
しているんだい？

その子は
今は
私のモノだよ



横取りなんて
粹じゃないこと
するのかな？

センパイ



お前は…
半妖ジュエか

今
何かと
悪目立ちしてる
新鋭だな

そうかそうか
お前のモノ
だったのか

どうりで
妙な術が
いろいろ
施されてると
思ったよ



まあいい
お前のモノと言うのなら
ここは返却しておこう

新人さんの
活動のジャマをする
つもりはないよ



この世には
やっちゃいけないことが
3つある

仲間を裏切ること

万物への感謝を
忘れること

もう一つは

人が楽しみにしている
おやつを
盗み食いすることだ

だが
もしお前じゃ
食べきれなくなったら

オレが
いただくからな？

妖人融和運動 代表
業魔ムラクサ